

(別添7)

事業所名:特定非営利活動法人グループホームなごみ

2 目標達成計画

作成日:平成21年12月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるように、事業所自体が地域の一員として日常的に交流していない。 | つながりを持てるようにまた、日常的に交流ができる。 | 他事業所の取り組みや行政などの意見を聞きながら日常的に交流ができるように取り組む | 6ヶ月 |
| 2 | 33 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について「なごみ」の指針が提示されていない。 | 利用者が重度化した際の対応や支援の方法の指針を作成し事業所、利用者、家族に提示し共有を図る。 | たたき台を作成し職員等と事業所で支援できることを話し合い、家族等と共有する。 | 6ヶ月 |
| 3 | 34 | 急変時や事故発生時の備えについてすべての職員が実践力を身につけていない。 | すべての職員が応急手当や初期対応ができるよう訓練を定期的に行い実践力を身につける。 | 急変時や初期対応ができるようにマニュアルを再確認し定期的に訓練を行う。慢性気管支炎など重篤な病気を持った利用者様等に対応できるように取り組みます。 | 6ヶ月 |
| 4 | 36 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保について、人格を尊重しプライバシーをそこねないケアの質をさらに向上させる。 | ケアの質を向上させることにより、利用者はもとより家族との信頼関係をよりよいものに満足度を少しでも高めたい。 | ミーティング時等に、現場での事例を基に利用者への言葉かけや態度など利用者や職員の気持ちを深く掘り下げ研究し安らかな生活をしていただけるように実践する。 | 6ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |